



バンコク便り



1. はじめに

春節に入りバンコクの街中もチャイニーズカラーの赤を中心とした装飾で溢れています。バンコクにもチャイナタウンがあり中華系タイ人も多いことから祝賀ムードが広がっています。そんな中、大気汚染や新型コロナウイルス（1/28 現在 感染者 14 人、うち 13 人が中国人旅行者、死者なし）などの影響が心配されるため、特に多くの人が集まる場所では注意が必要です。

2. 当地ビジネス情報

(①最低賃金の改定について)

2020年1月よりタイの1日当たりの最低賃金が改定されました。最低賃金の引き上げは2018年4月以来（本誌 No.19 掲載）となります。全体で5~6 パーツ引き上げとなり、現在の308~330 パーツ（約1,108~1,254 円）から、313~336 パーツ（約1,126~1,209 円）に上昇します。過去の最低賃金推移を見比べても10年で約1.5倍、20年で2倍以上に上昇しています。連立与党を率いる国民国家の力党は、2019年3月行なわれた総選挙の際に最低賃金を400 パーツに引き上げることを公約に掲げていたため今後も最低賃金改定の可能性はあるものと予想されます。

近年タイではマネージャークラスの人材の需要が増えてきており、賃金の他にも福利厚生を充実させるなど、優秀な人材の確保・離職率の低下等の対策が企業側にも求められてきています。

(②Tohoku Food Expo の開催！)

1月23日、豊田通商タイランドのオフィス内にて Tohoku Food Expo（主催：東北・食文化輸出推進事業協同組合）が開催されました。今年で2回目となる今回は海産物や果物等の東北産品を扱う9社が出展し、山形県からは株式会社小島洋酒店さまが出展されました。

また6月26日~28日に開催される日本の食や文化を紹介する「Toyotsu Japan Festival in Bangkok」には東北ブースの設置が予定される等、東北PRの機会が増えてきています。バンコク~仙台便の搭乗率が好調とのニュースもあり、東北とタイとの結びつきがより強くなっていると感じます。荘内銀行や山形県タイ友好協会では、この機会を活かし、地方の活性化に繋げていけるよう取り組んで参ります。

3. 現地トピックス

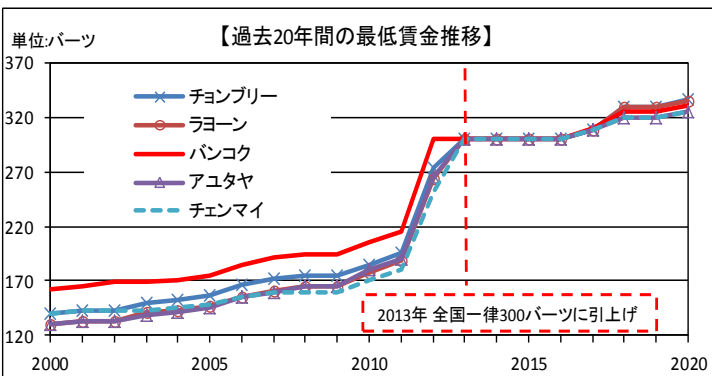
(プラスチック製レジ袋の配布中止)

世界的な脱プラスチックの動きが加速する中、タイでも大手小売店を中心にプラスチック製の使い捨てレジ袋の配布を1月より一斉に中止しました。以前よりコーヒーショップ等では紙ストローに変更する動きがありましたが、今般の取り組みにより環境問題への取り組みが一気に加速した形になります。右記表の通り主要なスーパーやコンビニ等ではレジ袋が配布されません。一部の店舗では布製の袋が販売されたり、有料のプラスチック製のレジ袋があるようですが、今後は出張等で訪タイした際のお土産購入にもエコバックの持参をお勧めいたします。

【最低賃金の改定】

単位：パーツ

| 主な県名 | 改定後 | 改定前 |
|--------------|-----|-----|
| チョンブリー・ブーケット | 336 | 330 |
| ラヨン | 335 | 330 |
| バンコク・ノンタブリー | 331 | 325 |
| アユタヤ・チェンマイ | 325 | 320 |



日本酒の試飲を勧める小島洋酒店さま

プラスチック製レジ袋の配布中止店（主な施設）

- セブンイレブン
- セントラル・フード・ホール
- グルメマーケット
- UFM フジスーパー
- 伊勢丹
- サイアム高島屋

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）